

■背景: 専門学校『アイデアITカレッジ阿蘇』を創るに至った背景



南阿蘇村 2016年熊本地震と復興

◆東海大学の撤退

1万人の村で、学生800人が、一挙に村外へ

◆南阿蘇村の人口

2019年1月10,586人

⇒2042年 7,516人 ▲29%

南阿蘇村に学校を誘致する



新規の専門学校を設立する

学校法人(設立予定)アイデア熊本アジア学園

設立代表者 井手修身



発行所 熊本日回新聞社 〒860-8506 熊本市中央区世安町172 電話(096)361-3111 ©熊本日回新聞社 2020年 2020年(令和2年) 9月1日 火曜日

南阿蘇村に専門学校

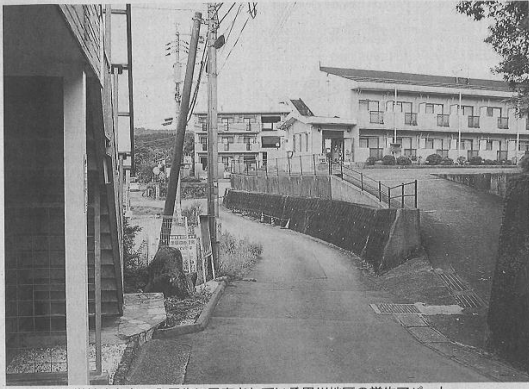
福岡の企業 22年4月開校へ

観光振興や地域活性化事業を手掛けるアイデアITカレッジ(福岡市、井手修身代表)は31日、南阿蘇村に2022年4月、1学年80人の定員160人。このうち約半数は、ベトナムや中国など東アジアを中心に日本語を学んだ留学生とする。初年度は約50人を募集予定。同村河陽の旧長陽保健センターを村から借り受け、校舎に活用する。IT分野で即戦力とな

観光振興や地域活性化事業を手掛けるアイデアITカレッジ(福岡市、井手修身代表)は31日、南阿蘇村に2022年4月、1学年80人の定員160人。このうち約半数は、ベトナムや中国など東アジアを中心に日本語を学んだ留学生とする。初年度は約50人を募集予定。同村河陽の旧長陽保健センターを村から借り受け、校舎に活用する。IT分野で即戦力とな

阿蘇村に専門学校「アイデアITカレッジ阿蘇」を2022年4月、開校させる計画を明らかにした。熊本地震前、東海大農学部が「学生村」も復活させたいと考えた。【5面に関連記事】同日、県私立学校審議会が運営主体となる学校法人「アイデア熊本アジア学園」の新設と学校設置に関する事業計画を承認した。早ければ本年度内に県の認可を受ける予定。同社によると、学校は1学年80人の定員160人。このうち約半数は、ベトナムや中国など東アジアを中心に日本語を学んだ留学生とする。初年度は約50人を募集予定。同村河陽の旧長陽保健センターを村から借り受け、校舎に活用する。IT分野で即戦力となる。一方、学生たちの生活場所は、東海大農学部生が暮らしていた同村黒川地区を予定。既に同社と村は2〜3月に住民説明会を開き、受け入れのための準備を進めている。同村出身の井手代表(57)は「新型コロナウイルス収束後を見据え、ITや観光・サービス業に必要とされる人材を輩出し、合わせて村への移住・定住を促し、ふるさとを再び盛り上げたい」と意気込んでいる。(上杉勇太)

学生村“復活”に期待



専門学校生たちの入居先に予定されている黒川地区の学生アパート=31日、南阿蘇村

南阿蘇村に専門学校計画 留学生受け入れ不安も

南阿蘇村に2022年4月、1学年80人の定員160人。このうち約半数は、ベトナムや中国など東アジアを中心に日本語を学んだ留学生とする。初年度は約50人を募集予定。同村河陽の旧長陽保健センターを村から借り受け、校舎に活用する。IT分野で即戦力となる。一方、学生たちの生活場所は、東海大農学部生が暮らしていた同村黒川地区を予定。既に同社と村は2〜3月に住民説明会を開き、受け入れのための準備を進めている。同村出身の井手代表(57)は「新型コロナウイルス収束後を見据え、ITや観光・サービス業に必要とされる人材を輩出し、合わせて村への移住・定住を促し、ふるさとを再び盛り上げたい」と意気込んでいる。(上杉勇太)

熊本地震 地震後、名物となった「豚汁」の需要が落ちた。熊本地震後、名物となった「豚汁」の需要が落ちた。熊本地震後、名物となった「豚汁」の需要が落ちた。

にぎわい戻るか 南阿蘇で専門学校設立へ 2020.09.15 19:19



設立 「学生村」のにぎわい戻るか 南阿蘇にIT・観光の専門学校

- 学生とカリキュラム
• 1学年80人(2学年で定員160人)
• 「ITビジネス学科」「国際ビジネス学科」

https://www.tku.co.jp/news/20200915%EF%BD%85/?fbclid=IwAR0nmVCFyh0yLf8I67aonaQ74IhLZPFFmvOC8ueBQD23xcuS4d88D60rJK0

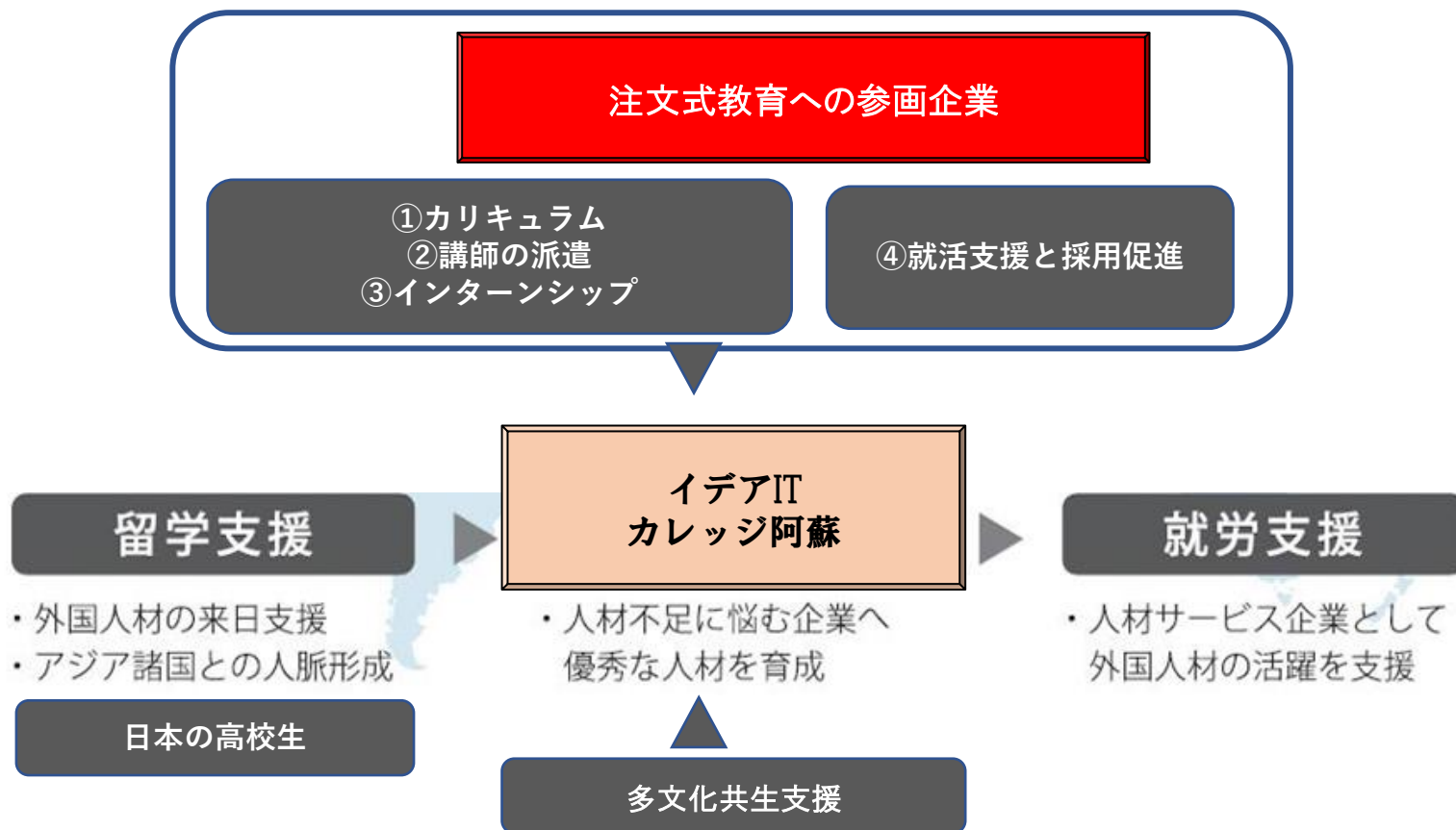
TKUテレビ 動画

注文式教育の考え方と企業参画のしくみ

◎注文式教育とは～企業より教育課程や採用人員の注文を受け、それに合わせた専門技術者を養成する。

◎具体的に企業は、【ITビジネス学科】【国際ビジネス学科】において、以下のステップで関わる

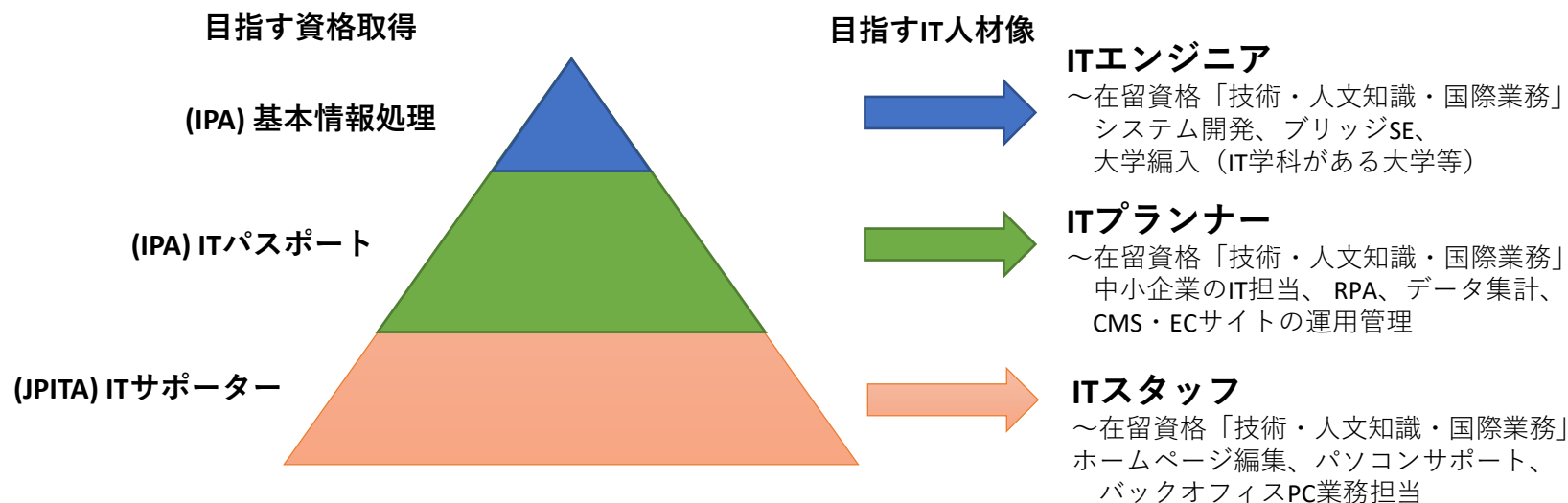
- STEP①: 各学科のカリキュラム作成やカリキュラムを提供する
- STEP②: 定まったカリキュラムの中で、講師を派遣する
- STEP③: インターンシップ(単位認定あり)として受入れする
- STEP④: 学生の就活支援と採用促進(各企業の採用基準に基づく)



[1] カリキュラムと求める人材像 【ITビジネス学科】

ITビジネス学科における注文式教育＝出口の人材像

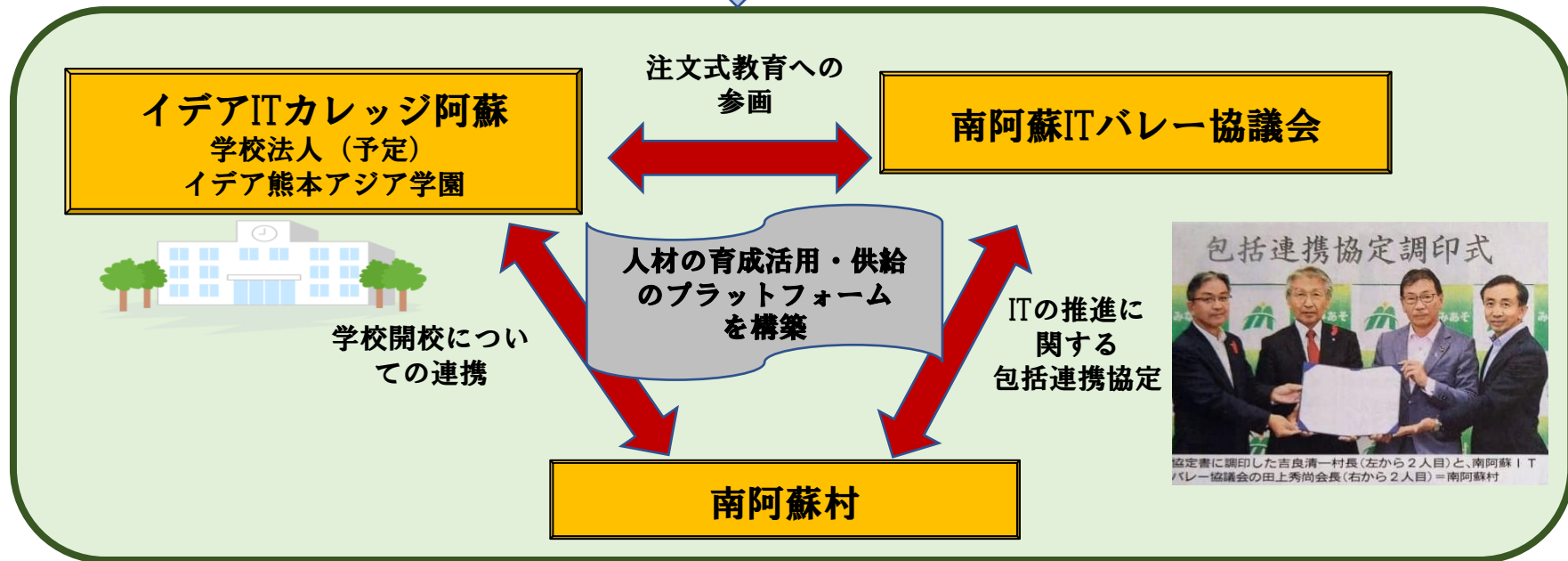
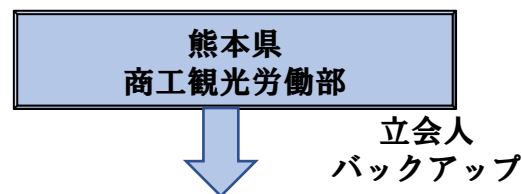
- ・ITエンジニア (20%) 新しいプログラム開発や設計ができる人
- ・ITプランナー (40%) もろもろの業務にITツールを活用できる人
- ・ITスタッフ (40%) 定型のIT作業や、PCトラブルの相談窓口ができる人



[2] 『南阿蘇ITバレー』 3者の連携による波及効果

南阿蘇村と南阿蘇ITバレー協議会が包括連携協定を締結することで、専門学校「アイデアITカレッジ阿蘇」との3者が相互連携体制を構築し、熊本県下の「人材の育成活用・供給のプラットフォーム」を構築して、以下の様な波及効果を生み出すことになる。

- ・熊本県下のIT企業・観光サービス業・農業の高度専門職の人材供給、ベンチャー企業やスタートアップ企業の創出・交流の場。
- ・南阿蘇村内には、新しい生活様式（ニューノーマル）を支える働き方の場、学生・企業人による定住人口の増加、雇用の増加、学生とIT企業と地元学生、住民との多文化交流。
- ・ITを活用した阿蘇地域の地方創生のモデル的、試験的な取り組み。



[3] 『南阿蘇ITバレー』今後のスケジュール

◎『南阿蘇ITバレー』今後のスケジュール

- ・2020年 8月31日 「学校法人イデア熊本アジア学園」の県より事業計画の承認
 - ・2020年 10月1日 南阿蘇ITバレー協議会の設立
 - ・2020年 10月5日 熊本県、南阿蘇村、進出企業「南阿蘇ITバレー」との連携協定締結
- (以下は、今後の予定)
- ・2021年 2月 「学校法人(設立予定)イデア熊本アジア学園」の県私学審議会答申通過
 - ・2021年 4月 「学校法人イデア熊本アジア学園」の認可、学生募集
 - ・2021年 夏頃 「南阿蘇ITバレー協議会」のコワーキング開設
 - ・2022年 4月 専門学校「イデアITカレッジ阿蘇」の開校
-
- ・南阿蘇村への進出企業(南阿蘇ITバレー協議会参画)の誘致
 - ・イデアITカレッジ阿蘇と南阿蘇ITバレー協議会での注文式教育導入
 - ・南阿蘇ITバレー協議会企業の新しい生活様式を支える働き方の場・コワーキングの開設
 - ・ITを活用した阿蘇地域の地方創生のモデル的、試験的な取り組み
 - ・学校法人(設立予定)イデア熊本アジア学園の副校長、職員の採用
 - ・『イデアITカレッジ阿蘇』の学生募集